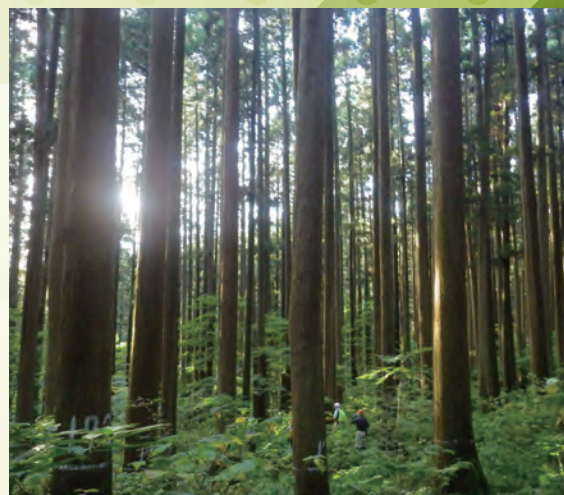


秋田県 林業研究研修センター 要覧

Akita Prefecture Forestry Research and Training Center



温室効果ガス排出削減目標の達成、2050年ネット・ゼロの実現に貢献するため、森林による二酸化炭素の吸収・貯蔵機能への期待が高まっています。秋田県林業研究研修センターでは、豊かで多様な森林資源の循環利用や、森林の公益的機能の発揮を通じ、持続可能な森林経営に資するための森林・林業に関する調査・研究、技術開発、研究成果等の普及を行っています。

平成27年度から、就業前の林業技術者養成プログラムとして、「秋田県林業トッパーランナー養成研修（秋田林業大学校）」を開講し、秋田の林業を担う若い林業技術者の養成を行っています。

沿革

昭和23年 秋田県木材工業指導所を大館市に設置

昭和27年 林業部門を加え、秋田県林業試験場に改称

昭和39年 秋田県林木育種場を秋田市（旧雄和町）に設置

昭和52年 秋田県林業試験場と秋田県林木育種場を統合し、秋田県林業センターを秋田市（旧雄和町）に設置

平成2年 バイオテクノロジーによる研究推進のため、秋田市（旧河辺町）に移転し、秋田県林業技術センターに改称

平成12年 森林生態系保全及び森林資源利用を総合的に推進するため、秋田県森林技術センターに改称

平成18年 農林水産系の公設試験研究機関を統合し、秋田県農林水産技術センター森林技術センターに改称

平成24年 秋田県農林水産技術センター廃止により、秋田県森林技術センターに改称

平成26年 林業の研修・普及及び人材育成を一体的に推進する研修普及指導室を新設
秋田県林業研究研修センターに改称

平成27年 秋田県林業トッパーランナー養成研修（愛称：秋田林業大学校）開講

平成29年 機械実習棟設置

組織

所長

総務企画室

総務企画チーム 予算・決算、財産管理、研究企画、研究成果の広報、技術移転

研修普及指導室

研修チーム 林業トッパーランナー養成研修の運営、林業技術者等人材育成

普及指導チーム 林業普及指導、林業普及指導員等の育成、関係団体指導

環境経営部

林業生産、水土保全等森林の多面的機能の維持・増進に関わる技術開発

資源利用部

秋田スギ・抵抗性マツ等の育種、きのこの栽培技術開発

施設

構内図



敷地面積

■ 苗畑1.00ha	■ 育種用地(採種穂園)	...29.38ha
■ 試験地、防風林等	...25.94ha	■ 建物用地2.18ha
合 計		58.50ha	

主要建物



①管理棟 (木造2階建 773.58㎡)



②研究棟 (鉄筋コンクリート2階建 2,104.16㎡)



③ガラス温室 (鉄骨平屋建 230.00㎡)



④きのこ栽培実験棟 (鉄骨平屋建 98.60㎡)



⑤種子・作業棟 (木造平屋建 248.43㎡)



⑥実習棟 (木造平屋建 154.02㎡)



⑦機械実習棟 (木造平屋建 450.00㎡)



苗畑 (1.00ha)



採種園 (24.18ha)

林業研究研修センター研究中長期計画（令和4年度～令和13年度【令和8年3月改訂】）

「森の恵みを未来につなぐ林業・木材産業の実現に向けた資源循環利用体制の確立」をミッションとし、

基本方針

I 持続可能な森林経営を実現する技術の開発

スギ林の適切な森林経営を選択するためのゾーニングとそれに対応した施業方法について技術開発を行うとともに、里山広葉樹林の多様な価値の創出に対応した育成管理のための技術開発に取り組みます。



木材供給とカーボンストックを見据えたスギ人工林の持続的管理手法の確立

立地や伐期の選択及びカーボンクレジットに対応した持続的なスギ人工林の管理手法を提案します。



里山広葉樹の利活用と保全・再生技術の開発

里山広葉樹林の新たな価値創造・高付加価値化と順応的な管理手法を導入した保安全管理技術を提案します。

基本方針

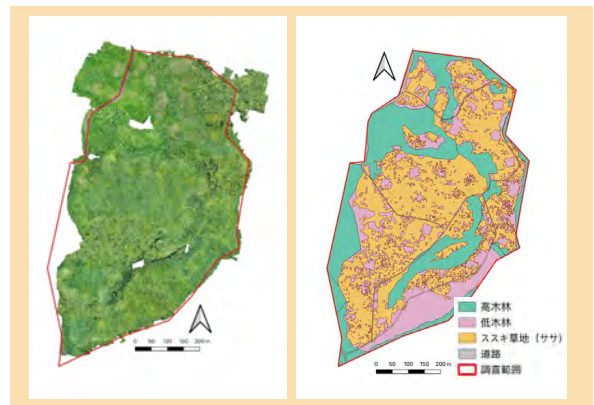
II 自然環境と社会基盤を支えるグリーンインフラとしての森林整備と保全に向けた技術の開発

森林のグリーンインフラとしての機能を十分に発揮させるため、モニタリングを実施し、情報のオープン化を進めます。また、生態系機能を解明し、適切な森林整備と生物多様性に配慮した順応的な保安全管理技術の開発に取り組みます。さらに、病虫獣害の発生による被害リスクの低減に向けて、監視を継続するほか、予防や対策を提案します。



海岸防災林のマツ枯れと防風機能の観測

生態系機能の解明と森林の持つ公益的機能の高度発揮
森林生態系における生物と環境との相互作用や働きを解明し、公益的機能の高度発揮に向けた森林管理技術を開発します。



画像解析による森林再生動態の解析(森吉山麓高原)

気候変動に伴う森林の動態解明と被害リスク低減技術の開発

温暖化がブナ林生態系に及ぼす影響を明らかにし、シカや特定外来生物による諸被害の監視と予防や対策を提案します。

5つの基本方針により技術開発や林業の担い手となる人材の確保・育成、林業技術の普及を図ります。

基本方針

III

優れた林木種子の供給体制整備と次世代品種の開発 ▶

森林資源の循環利用を図るために、再生林に有効な特定母樹や海岸防災林に適した抵抗性クロマツの開発を行い、優れた性質の苗木が十分に植えられるよう種子の安定供給に取り組みます。



従来苗木(左)と特定苗木(右)の成長の違い(3年生)

スギ特定母樹(秋田版エリートツリー)の種子安定供給体制の整備

初期成長に優れ、花粉生産量が半分以下の特定母樹の種子を安定的に供給するため、採種園の最適化を図ります。



抵抗性クロマツ採種園

マツノザイセンチュウ抵抗性品種の性能評価と次世代品種の開発

海岸松林の被害跡地の復旧に向けて抵抗性クロマツの品種を開発します。

基本方針

IV

きのこ生産者の安定経営を支える栽培技術の開発 ▶

菌床シイタケは、農山村地域経済を支える主要な複合作目です。既存の栽培施設を利用できるハタケシメジとアラゲキクラゲの栽培技術を開発し、複合栽培による経営の安定化に取り組みます。



ハタケシメジの菌床栽培



アラゲキクラゲの菌床栽培(左)と野生株(右)の探索

きのこ生産における低コスト・省力化を実現する栽培技術の開発

シイタケ生産を補完するため、低コスト・省力化を実現するハタケシメジとアラゲキクラゲの栽培技術を構築します。

複合栽培により、収益性が高い経営が行えるように、技術指導を行っていきます。

高い技術と専門知識をもった担い手の確保・育成

秋田県林業トップランナー養成研修

◆今後、増加する木材生産に対応していくためには、林業機械による低コスト生産から木材販売・利用までマネジメントできる技術者が必要となっておりますが、本県の林業従事者は高齢化が進み、特に林業の将来を担う若い人材の不足が大きな課題となっております。
このため、平成27年度から秋田県林業トップランナー養成研修(秋田林業大学校)を開講し、民間と行政が一体となった「オール秋田」による指導体制で、秋田の林業を担う若い林業技術者を養成しています。

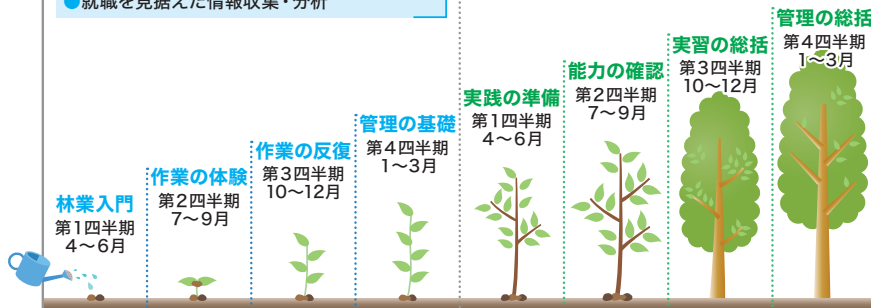
スキルの習得に向けて成長できる！

基礎力の習得 1年生

- 現場技術者としての基礎知識・技術
- 機械オペレーターとしての基本操作技術
- 短期インターンシップ研修での労働適応能力
- 事業管理に必要な企画・立案能力
- 就職を見据えた情報収集・分析

実践力の習得 2年生

- 現場監督者としてのコスト管理能力
- 高性能林業機械オペレーターとしての総合操作技術
- 長期インターンシップ研修での総合実践力
- 事業管理者としてのマネジメント能力



即戦力として働くための資格取得をサポート

1年次

- 伐木等の業務に係る特別教育
- 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育
- 小型車両系建設機械運転業務特別教育
- 車両系建設機械(整地等)運転技能講習
- 玉掛技能講習
- 小型移動式クレーン運転技能講習
- はい作業従事者安全教育

2年次

- 伐木等機械の運転業務特別教育
- 簡易架線集材装置の運転業務特別教育
- 走行集材機械の運転業務特別教育
- 不整地運搬車運転技能講習
- 森林施業プランナー特別一次試験
- 松くい虫専門調査員
- 秋田県林業技術管理士

民間と行政が一体となった指導体制

秋田県林業トップランナー養成研修

秋田林業大学校

運営支援

- 秋田県林業技術者養成協議会
- ◎林業・木材産業関係団体
- ◎国・県行政機関

研修指導

- 秋田林業大学校サポートチーム
- ◎林業・木材産業関係団体
- ◎機械メーカー



研修カリキュラム

テーマ	科目	
I 森林・林業の知識と経営感覚の習得	(1)林業基礎・概論 (3)森林経営	(2)森林環境
II 森林の造成・生産・利用の技術習得	(1)スマート林業 (3)森林調査 (5)素材生産 (7)労働安全衛生	(2)森林施業 (4)路網開設 (6)木材加工・流通
III 資質を高めるスキルアップ研修	(1)インターンシップ研修 (3)選択コース	(2)総合講座
【森林管理コース ・ 林業技術コース】		

森林の適正な管理と持続的経営に貢献する技術の普及

◆林業・木材産業の成長産業化と森林の適切な管理を両立する取組などを強化するために、高度で幅広い技術や知識を持ち、地域の森林・林業を振興するための牽引役となる林業普及指導員や森林総合監理士の育成及び資質向上のための研修会などを行っています。

また、森林所有者や林業経営体等を対象に、低コスト・省力化技術の導入など新しい林業経営に関する最新の知見や技術等の普及・定着を図るため、秋田県林業普及冊子の発行や林業技術交換研修会等を開催しています。

実施内容

- 林業普及指導員及び森林総合監理士の育成
- 林業普及指導員等の資質向上のための研修の企画・開催
- 中高生を対象とした林業体験学習の実施
- 秋田県普及冊子の発行
- 林業技術交換研修会の開催



林業技術交換研修会



林業普及指導員を対象とした研修



中高生を対象とした
林業体験学習



秋田県林業普及冊子の発行



秋田空港

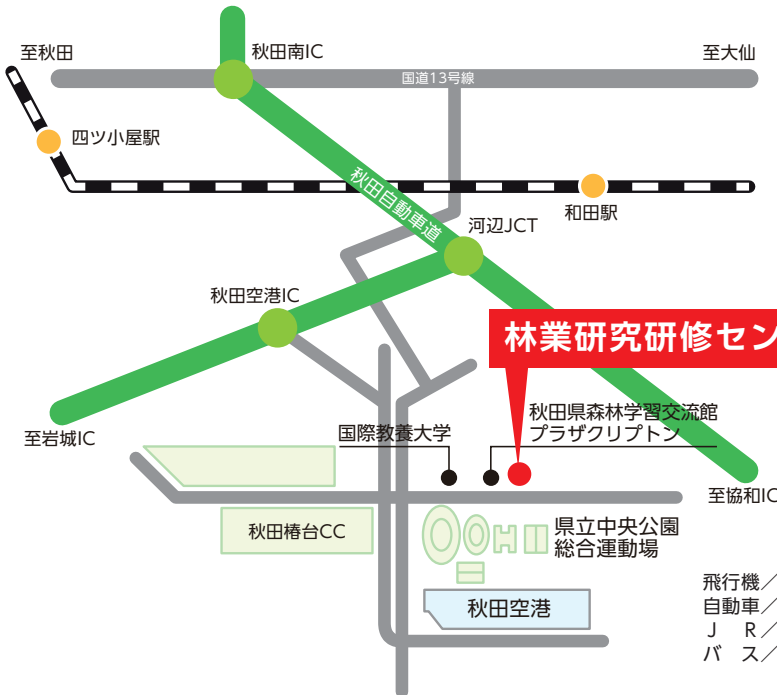
秋田県立中央公園

秋田県林業研究
研修センター

プラザクリプトン

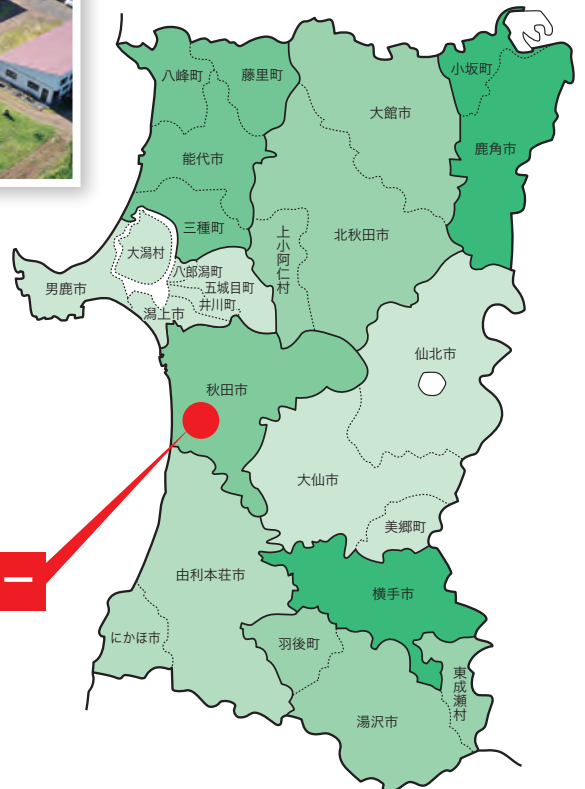


交通のご案内



林業研究研修センター

秋田県森林学習交流館
プラザクリプトン



飛行機 / 秋田空港より車で7分
 自動車 / 秋田南ICより車で10分、秋田空港ICより車で5分
 J R / 秋田駅から車で40分、和田駅から車で10分
 バス / イオンモール秋田から国際教養大前まで15分、
 和田駅前から国際教養大前まで15分

秋田県林業研究研修センター

〒019-2611 秋田県秋田市河辺戸島字井戸尻台47-2
 TEL.018-882-4511 FAX.018-882-4443
 e-mail forest-c@pref.akita.lg.jp
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/rinken>



HPはこちら

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。